

令和6年4月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和6年4月分について、輸出額は「有機化合物」などが減少したものの、「石油製品」、「鉱物性タール及び粗製薬品」などが増加したことから、対前年同月比42.0%の増加となった。また、輸入額は「石炭」などが減少したものの、「液化天然ガス」、「原油及び粗油」などが増加したことから、同16.4%の増加となった。

その結果、差引額は1,203億円（同1.1%の増加）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	1,012億円	+42.0%	2,215億円	+16.4%	▲1,203億円	+1.1%
	9カ月連続の増加		4カ月ぶりの増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 石油製品	166億円	+344.7%	輸入	増加品目	(1) 液化天然ガス	312億円	+124.7%
		(2) 鉱物性タール及び粗製薬品	61億円	+84.4%			(2) 原油及び粗油	1,336億円	+7.9%
		(3) 自動車	96億円	+29.8%			(3) 石油製品	62億円	+68.2%
	減少品目	(1) 有機化合物	32億円	▲46.2%		減少品目	(1) 石炭	81億円	▲61.3%
		(2) 金属加工機械	0.1億円	▲97.4%			(2) 重電機器	3億円	▲38.1%
		(3) 科学光学機器	5億円	▲44.8%			(3) ゴム製品	7億円	▲17.1%
	地域別動向	アジア、西欧が増加、アフリカは減少				地域別動向	中東、アジアが増加、大洋州は減少		

（参考）ドルレートは、151.66円（前年同月比14.7%、19.43円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。